



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2014年2月のロータリーレイトは1ドル=102円
地区大会は10/4～10/5



例会優り

第 732 回例会
ホテル日航 3F
2/20(木) 19:00
例会出席率 23/36 63.88 %
1 月修正出席率 66.47%

点 鐘

ロータリーソング
『手に手つないで』
四つのテスト
会長 挨拶：ソチオリンピックでのメダルも7個になりました。あと3日間になりますが、残りを楽しみたいものです。



私は昨日、一昨日と2日間、大阪、名古屋、東京と出張して来ましたが、先日の関東甲信地方の大雪があり、大阪でも10cm程積もり、車がスリップしていたようです。東京では横浜・山梨寄りの大田区では路地には残雪がまだところどころありました。20cm以上積もって大変だったとのことです。帰りは越後湯沢経由で帰ってきましたが高崎では残雪がまだひどく、路地の所まで残っていました。また、直江津はほとんど雪がなく、ほんの少しの残雪程度でびっくりしました。なんにしろ、雪の少ないのはありがたいものです。

ゲスト紹介(卓話者) 子ども夢フォーラム 代表 高木眞理子 様
ビジターのご紹介 なし

クラブ例会予定 2013-2014年度

- 2/13 藤間勘菊会員(職業奉仕)
- 2/20 高木眞理子様(子ども夢フォーラム代表) 理事役員会
- 2/27 穴倉玉日様(泉鏡花記念館学芸員)
- 3/6 交換留学生 Brianna さんお誕生会
- 3/13 張泓明様(小松東 RC 米山奨学生)
- 3/20 宮永会長エレクト PETS 報告 他
- 3/27 山出保様(金沢前市長)

幹事・委員会報告



上杉輝子幹事：①本日、例会終了後、5F「松・竹の間」にて理事役員会がありますのでご出席下さい。②プログラム委員会からのお願いです。4月の卓話ですが、4/3、4/24が空いています。どなたかご紹介ください。

《 食 事 》

2013～14 理事・役員 委員会 ★太字：理事役員

(役員) 会長：野城勲 エレクト：宮永満祐美 副会長：若狭豊 副会長：魏賢任 幹事：上杉輝子 副幹事：井口千夏
会計：東海林也令子 SAA：武藤清秀 直前会長 北山吉明

(理事) クラブ管理運営委員長：西村邦雄 副：二木秀樹 親睦：○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満 井口千夏 プログラム：○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA：○武藤清秀 大路孝之 川きみよ ニコニコ：○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則：○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智

奉仕プロジェクト委員長：木場紀子 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 竹田敬一郎 社会：○谷伊津子 辰己クミ 大沼俊昭 国際：○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子

喫煙問題：村田祐一 会員組織委員長：金沂秀 副：辰己クミ 会員増強修練：○藤間勘菊 石丸幹夫 炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：永原源八郎 ロータリー財団・米山寄付：○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付：野城勲 広報委員会委員長：村田祐一 副：江守道子

広報：○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 ロータリー情報：○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報ホームページ：○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間 京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241(事務局) 村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日(土日祝日) 幹事 上杉輝子



野城会長：高木眞理子様、本日の卓話宜しくお願ひいたします。**石丸会員**：高木様、お元気でよく頑張っているらしいですね。又よろしくお願ひいたします。**上杉幹事**：高木様、ようこそいらっしゃいませ。子ども達の為にいつも本当にありがとうございます。お話し楽しみにしております。**北山会員**：高木まりこさん、ようこそ。いつも本当に頑張っている姿を見て感心しています。**木場会員**：高木眞理子様、卓話楽しみに聞かせていただきます。**炭谷会員**：高木様、ご苦労様です。今後もご活躍下さい。**永原会員**：高木様、夢フォーラム代表として頑張っておられる事感謝いたします。本日の卓話、楽しみにしております。

講話の時間

「子育て支援に地域が果たす役割について」 子ども夢フォーラム 代表 高木 眞理子 様

プロフィール

子どもの気持ちを受けとめること、そしてそこから気づいたことを社会に発信していくため、【子ども夢フォーラム】を1999年に設立。

2000年5月から、子ども専用電話「チャイルドライン・いしかわ」の活動をフリーダイヤルで実施。累計受信件数は、2012年度までに94,583件(2013.3月)。

2007年秋、子どもたちに真に求められるチャイルドラインを実現するため、「チャイルドライン全国フォーラム」を金沢市で開催。実行委員長として質実を伴う基盤設備の必要性を訴えた。

2008年4月より、「子どもの権利擁護支援室」において、大人からの電話・面談による相談『パパママ・ホットライン』もスタートさせた。

2009年、長期入院児の親子のための「ホットアート」事業を実施。年1回、プロのパフォーマーを招聘し、楽しい時間を過ごしてもらおうもの

2010年より、長期入院児の親子が楽しい時間を過ごせるための「ホットサロン」事業を実施。かんたんな作品作りをしながら、日々の付き添いや治療の大変さをねぎらう。

東日本大震災被災者支援として、宮城県仙台市内や東松島などで「ホットサロン」を、宮城県内のNPOと連携して実施している。



紹介：木場会員

おもな役職など

- 子ども夢フォーラム代表
 - 石川県子ども政策審議委員
 - 石川県「子どもの権利擁護支援室」室長
 - 金沢市男女共同参画審議委員
 - 「金沢子どもを育む行動推進委員会」委員
 - 金沢市防災会議委員
- 他、各種団体と複数のネットワークを構築。

卓話概要



子どものおかれている状況は、チャイルドラインの活動を始めた15年前からほとんど変わっておらず、むしろ悪くなっているとさえ感じる。

2008年から、『パパママホットライン』で大人からの電話も受けるようになった。

子どものことで話し始めた親が、“甘える事をゆるされなかった”“否定されることばかり”など、自身の子どもの頃の親との確執に話が及ぶこともしばしば。

また、“虐待しそうになった”“手を挙げてしまった”“子どもがわからない”など、子どもとどう向き合えばよいのか、不安を抱えながら子育てしている様子もみえてくる。子どもだけでなく、悩む大人も多いことに改めて気付かされる日々。

子育て中の親にとって、子どもと関わる以前に、自分自身が子ども時代にしっかり関わってもらえた実感が足りていない事を親たちの声から感じる。

また、子どもを連れて外に出れば、まわりの人たちの冷たい視線を感じることも言う。そして、子連れは肩身がせまいとも。

そう思わせる空気が地域にあるとしたら、地域を構成する私たち大人のまなざしが冷たいということ。

“子育て、大変ねえ”“良くやっているねえ”など、ねぎらいの声掛けが少ないと感じる。

泣かせる子はダメな親！とレッテルを貼るのではなく、もっとプラスの評価や優しいまなざしがあると、子育て中の人たちは安心な気持ちが芽生えてくるはず。大人の安心は、子どもの安心につながる。

核家族化は、地域の力を無きものにした感がある。ゲームやパソコン等、人と関わらなくてもよい環境を加速させた結果、人と関わることで学ぶ経験(けんか、仲直り・・・)が無いまま、社会に出た途端、たちすくみ、行き詰り、ひきこもりやウツなどを引き起こす、あるいは自暴自棄な行為に走ることも容易に想像がつくこと。

私の話は、深刻で重たい話でいつも申し訳なく思うが、一人ひとりの中に、自分を肯定し、相手を認めあう経験や

実感を持ちあえるようなやさしいまなざしと関わりが、今、求められていると感じる。もっともっと地域でできることがあるはず。

気付いた大人が、地域の中で、それぞれ考えて行く必要があろうかと感じる今日この頃。

今後とも皆さまのご指導をよろしくお願い申し上げます。(文責：高木眞理子)

北山吉明前会長：東日本災害のチャリティコンサートをいたします。この三年で5回目です。催し物は日本の歌をうたいます。チャリティ収入の一部は東日本に書籍をおくります。百万石 RC 後援をお願いしました。よろしくお願ひいたします。

3/19 金沢アートホールにて

点 鐘

理事会について

日時:2月20日(木)例会後 場 所:ホテル日航金沢 5F 「松・竹」

議 件:1. 地区ロータリー財団補助金申請について(ラオス) 2. 候補者推薦について (ロータリアン配偶者/パートナー奉仕功労賞・意義ある業績賞) 3. 東北大震災復興支援チャリティコンサート「花は咲く」後援の件
4. その他

「交換留学生 Brianna さん 誕生日会」

金沢百万石ロータリークラブ交換留学生カウンセラー東海林 也令子、奉仕プロジェクト委員会国際奉仕 川 きみよ 例会のご案内

さて、3月9日は交換留学生の Brianna さんのお誕生日です。そこで3月6日の例会は Brianna さんのお誕生日会といたします。Brianna さんのお友達や4月よりホームステイ先となる村井様ご家族もお招きし、Brianna さんを囲んで楽しく過ごす会としたいと思います。多くの会員で祝いしましょう。

なお、クラブでプレゼント・お花・ケーキは用意いたしますが、その他のプレゼントも歓迎いたします。

又、食数の把握をいたしたく、ご出欠をお知らせください。2014年3月6日(木)19:00～20:00 ホテル日航金沢 5F 「オーキッド」※食事は例会時の洋食となります。ㄇ 切 2月27日(木)。

交換留学生 Bttanna さんへの質問募集

時下益長ご清祥の段、お慶び申し上げます。さて既に c-3 内しておりますが、3月6日の例会は交換留学生 Bttanna さんのお誕生日会をいたします。当日は Bttanna さんへの質問の時間を設け、いろいろお聞きしたいと思います。つきましては、事前に会員の皆様より質問を募集いたしたく、何個でも結構ですので、下記にご記入の上、ご返信下さい。よろしくお願ひいたします。返信先 FAX 076-262-2241 または E-man khrcoouartz.ocnene.ip
交換留学生 Brianna さんへの質問会 員 名()下記にご記入下さい。何個でも結構です。

パストガバナーからの手紙

166回 パストガバナーからの手紙 167回

名著探訪その5 「平家物語」

炭谷 亮一

約15年前に石川県立能楽堂で、友好クラブである世田谷中央 RC の橋会員がプロデュースした「平家物語」を聞く会が催された。当日は女優の「若村麻由美」が平安時代の衣裳を身にまとい、感情を込め(もちろん台本など一切見ないで)休憩を挟んで約2時間近く、よどみなく語った。途中、笛と尺八のものの悲しい音色とのコラボもあって、我々観客に「諸行無常」と「滅びゆく者達」への哀愁と美を強く意識させるものであった。直後にこんな長い物語を暗記し、よどみなく語った「若村麻由美」に感嘆し、彼女の女優としての力量を認識させられた。

さて最近知ったことだが、「平家物語」の特徴は「源氏物語」や「枕草子」の様な和文ではなく、「和漢混淆文」で書かれており、「和漢混淆文」は日本古来の大和言葉に漢語を交ぜた文体のことで、その特徴は非常にリズムカルで、暗記しやすくかつ長く記憶に留めることができる。又読みやすく、しゃべりやすい文体であり、同時に聞き取りやすいと伝播、伝承にはいいことづくめである。さてここで誰が何んの為に「平家物語」を書いたか、その背景について最新の研究をもとに検証してみた。

「平家にあらずんば人にあらず」と栄華を誇った平家一門は壇ノ浦で源氏に滅ぼされ、幼い安徳天皇までも平家滅亡に殉じた。平家一門は完全消滅した。当時の人々は大変驚き、平家一門の怨霊に脅えた。“祟りじゃ!!祟りが恐い!!”と。そこで平家一門の怨霊を鎮魂する必要があった。ところが勝った側の源氏は「侍に怨霊なし」との有名な格言通り、知らぬ存ぜぬ平気の平左で、一向に鎮魂を行う気配がなかった。当然である。武士たるもの、命のやり取りは当たり前で常に体を張って殺し合いをしており、相手を殺したからと言って怨霊など恐れていたのでは、商売にならないと言う理由であったろう。

ところが貴族階級は、みな怨霊信仰の信者であった為、様子を見ていた貴族達は源氏が鎮魂をやらぬと言うなら我々が代わってやらなければ、平家一門の大怨霊がこの世にそして我が身にどんな大災難を及ぼすかも知れないと恐れ、源氏に代わってやったのが「平家物語」を書ききっかけであり、平家一門の栄枯盛衰、波乱万丈そして滅びゆくものの美と悲しみ、諸行無常をノンフィクション風を書いて追悼し鎮魂を試みた。



それでは一体誰が命じ、誰が書いたか検証してみた。

それから百年後に書かれたあの有名な吉田兼好作「徒然草」の中に「信濃前司行長」が書き、「生仏」と言う盲目に教えて語らせたとあり、更に天台宗総本山である比叡山延暦寺の座主であった「慈円」大僧正が「行長」のスポンサーとなって「平家物語」執筆を援助していたと記されていた。「慈円」の実兄は関白九条（藤原）兼実であり、かつ「行長」は仕えていた。近年の研究で、行長は実在の人物であることがわかった。「信濃前司行長」の正体は「藤原行長」であり、当時権勢を誇った藤原氏は余りにも藤原姓が多くなり、例えば五摂家すべて藤原姓の為、一条、二条、九条、近衛、鷹司と名乗った。おそらく命令は関白九条兼実より実弟「慈円」、家来「行長」に出されたと考えるのが妥当だろう。そこで慈円は自身が書いた「愚管抄」の中で、「この世の乱れはすべて怨霊が原因だ」と書いている。つまり、彼は怨霊信仰の信者である為、貴族階級のみならず世の多くの人々の思いを汲み、世の安定と平穏を願って平家一門の怨霊鎮魂と言う、一大プロジェクトのプロデュースを引き受けたのだと思う。そこで考えたことは上流階級だけでなく、多数派の一般庶民をも巻き込んだ大鎮魂がふさわしいし、是非必要と考えたのであろう。しかし書物による流布では一部の上流階級だけに終わってしまう、何とか一般庶民にまで広げる方法とは考えた結果、リズムカルな文章で弾き語りならば、無学文盲の庶民でも聴くことが出来、おぼろげながらも「平家物語」を知り、鎮魂の気持ちを分かち合えればと考えたのであろう。そして以上を「行長」に対して指示し、「行長」は格調高い名文を綴った。

当時は娯楽と呼べる様なものがなかった時代である。盲目の琵琶法師が町の広場で「ベンベン」と琵琶を奏でるだけで、庶民が何んだ何んだと集まって来て、弾き語りには瞬間に黒だかりの人の山となったことは容易に想像出来る。そして「平家物語」は爆発的に庶民の間に普及して行った。今日で言えば、ギターを片手にしたフォークソングやロックのストリート・コンサートの様なものではなかったかと思う。庶民が楽しげに格調高い「平家物語」に聞き入る姿を想像すると、慈円の発想力に敬嘆させられる。「生仏の琵琶法師」は人のいる所ならどこへでも出掛けて「ベンベン」とやったのであろう。又、リピートの要請も多かった為、多忙を極め、「生仏の琵琶法師」一人では需要に追いつけず、慈円は慌てて何人もいや何百人ものインスタント琵琶法師を養成し、全国各地津々浦々に送り出した（14世紀の中頃には琵琶法師たちは、興行権の保証を求めて当道座（組合）を結成した）。そして自身の目論見の大成功に、してやったりとにんまり微笑んだのではないだろうか。まあ今日的に言えば、AKB48のプロデューサー秋元康の様な存在だと言える。

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり……」と「門前の小僧、習わぬ経を読む」との諺通りに、無学文盲の一般庶民が暗記し、口ずさむ姿に貴族達は驚き、これで平家一門の大鎮魂は成就したと安堵したことであろう。最後に「平家物語」は歴史書ではなく秀逸な文学作品である。

東京世田谷中央RCから 「平家物語」について

この度当クラブでは社会奉仕事業として3月8日に添付のセミナーを開催いたします。橘会長の「平家物語」を軸に映像、講演、琵琶演奏と内容の濃いセミナーとなっております。ご遠方ですので、ご出席はご無理と存じますがご案内だけさせていただきます。よろしくご願ひ申し上げます。お寒い折、御身お大切にさいます。

東京世田谷中央RC事務局 高橋景子

その先にあるもの

東京世田谷中央ロータリークラブ 2013-14年度社会奉仕事業
Rotary いきいきライフセミナー Vol.4

私達が忘れてきたもの……
原典「平家物語」から超えよう
私達の大切なものを！！

日時 平成26年3月8日(土)13:30~16:00(受付・開場 13:00)
会場 駒澤大学 本部棟・中央講堂 (世田谷区駒沢1-23-1)
対象 東急田園線中継「駒沢大学」駅下車、「駒沢公園口」より徒歩10分
世田谷区にお住まいの方、又は、世田谷区に所縁のある方々(年齢不問)
定員 200名(年齢不問)
定員超過多数の場合は抽選の上、当選はがきの送付をもって代
えさせていただきます。
主催 国際ロータリー第2750地区 東京世田谷中央ロータリークラブ
後援 世田谷区/駒澤大学/エフエム世田谷
協力 NPO法人 原典「平家物語」を継ぐ会
お申込方法 住所・氏名・年齢・人数・連絡先をご記入の上、FAX又は、メ
ール、はがきにてお申し込みください。
FAX 03-6416-5862
E-mail setactrc@athena.ocn.ne.jp
住所 〒150-0043 世田谷区蓮生1-16-15 オペラハウス渋谷 7F
東京世田谷中央ロータリークラブ事務局
いきいきライフセミナー係
Tel 03-6416-5861 (開会のみ)

祇園精舎、

上映	講演	演奏
<p>上映映像 原典「平家物語」より 『祇園精舎』 声：中村吉右衛門 音楽：廣多郎 『歌盛最期』 出演：阿橋和彦</p>	<p>歴史を紡ぐ「平家物語」、人を語る「平家物語」 櫻井博子 Sakurai Hiroko 駒澤大学文学部教授。「平家物語」 などの軍記物語を中心とした中 世日本文学の研究を専門として いる。著書に「平家物語の形成 と変容」、「CD 聴いてわかる「平 家物語」の日月」、「平家物語大 典」など多数。</p>	<p>『祇園精舎』『歌盛最期』 坂田美子 Sakata Yoshiko 琵琶演奏者、桐原学園芸術短期大 学非常勤講師。1978年、半田 淳子に師事。拜師後と教の可能 性を追求するコンサート「ひび き」を組織し、オリックスホール等 で、民謡などのアレンジ曲を多数演奏。第40回 琵琶演奏コンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。</p>